

「見る」だけのテレビではありません

「見る・聴く・伝える」 総合情報サービス



杉山峠に完成した北九州局用受信アンテナ

もうすぐやってくる21世紀、社会情勢の変化に伴い、国や民族といった壁が取りはらわれ、24時間、時差なく情報が行き交う時代になりました。このような流れに対応して、人と人との交流を密にして理解を深め、問題の解決をはかっていくために、「見る、聴く、伝える」マルチメディアの活用が重要な鍵をにぎっています。

その第一歩となるべく、有線テレビ事業が、今、三隅で着々と進行しています。

YTMの自主番組は、3チャンネルで町の話や生活情報、生産、流通情報などを、4チャンネルのお天気チャンネルでは町内5カ所気象観測ロボットからのデータを通信衛星を使い気象庁のデータと統合、分析し、より詳しい三隅のお天気をお知

らせします。

再送信は、地上波でNHK3チャンネル、民放7チャンネル、BS3チャンネル、CS7チャンネルと自主番組2チャンネルを加え映像21チャンネルは農村型としては中国地方最多となります。さらにFMも4チャンネルのサービスを予定しています。

また、デジタル信号による多重情報伝送システムを導入し、各家庭への緊急連絡放送や学校、自治会、消防団、サークル等、グループ別の連絡放送等も自由にできるようにいたします。

有線テレビは、ただ「見る」だけのテレビではありません。21世紀の総合情報サービスです。

